



令和7年(2025年)12月25日(木)発行



「熊とAIが教えてくれたこと」

主幹教諭 伊藤 拓

2025年もいよいよ締めくくりの時期を迎えました。入学や進級で新たな仲間と出会い、日々の授業や旅行的行事、学校祭、何気ない学校生活の中で、子どもたちは互いにに関わり合い、歩みを重ねてきました。

今年を象徴する漢字にも選ばれた「熊」の問題は、多様性について考える機会を与えてくれました。熊は本来、山で生きる存在であり、人間とは異なる生活リズムや行動原理をもっています。人里に現れる熊を一方向的に排除するのではなく、なぜ山から降りてくるのか、その背景や特性を理解し、共生の道を探る姿勢が求められています。学校もまた、多様な個性をもつ子どもたちが集う場所です。自分と異なる性格や考え方をもつ仲間を理解しようと努め、思いやりをもった関わり方を学ぶことが、安心できる学校生活へとつながります。

また、近年私たちの生活に深く関わるAIも、多様性の話と重なる点があります。私たちがスマートフォン等を通して目にする情報は、AIを活用した「アルゴリズム」と呼ばれる仕組みによって届けられています。アルゴリズムとは、一人ひとりの検索履歴や閲覧傾向をもとに、次に示す情報を判断するルールのことです。自分の興味関心のあることや、同じような価値観ばかりの情報が表示されやすくなり、多様な視点に触れにくくなる危うさを含んでいます。知らぬ間に情報の偏食に陥ることがないように、仕組みの理解が必要です。

とはいえ、AIを正しく理解し、必要な情報を取捨選択して活用することができれば、様々な気づきを与えてくれることもあります。先日、ふと開いた私のスマートフォンの画面に、まさにその「アルゴリズム」によってか、人気漫画ワンピースのカバー裏に書かれたコメントを紹介する投稿が表示されました。

この世は 思った通りになるのだそうで
思った通りにはならないよと思っている人が 思った通りにならなかった場合
思った通りになっているので
やっぱりそれは 思った通りになっているのだそうで

(漫画ワンピース作者 尾田栄一郎)

ポジティブな思いをもって、そのための行動をしてみようと思いました。生徒の皆さんが「2026年はこんな年にしたい」と、思いを膨らませる冬休みとなることを期待しています。

今年1年、本当にありがとうございました。栄中学校に関わる全ての皆様にとって、来年が素晴らしい年になることを願っています。よいお年をお迎えください。

～一・二学期を振り返って～

3年5組 T.Y

二学期も終わりを迎え、いよいよ受験本番が近づいてきました。二学期は、体育大会や学校祭、一斉テスト②などいろいろな行事がありました。中でも、私は部活動の引退と三回の学力テストが特に印象に残りました。

部活動は、三年間吹奏楽部を続けたことで、引退した時に達成感を感じました。部活動に積極的に参加したり、同学年の仲間と情報共有や、意見の交流をしたことで、目標に向けて一緒に努力することや、自分らしさを出して、演奏することができました。このことから、三年間の部活動に後悔はなく、最後までやり遂げることができて嬉しかったです。

学力テストでは、自分の苦手な単元や、間違えやすい問題の系統がよくわかりました。入試までに基礎から復習し直して、苦手部分を克服できるように頑張りたいです。

三学期には、高校入試と卒業式があるので、どちらも後悔なく終われるようにしたいです。そのために、三学期は周りの方への感謝を忘れずに過ごすことを大切にします。特に、部活動の後輩や同学年の友達との何気ない会話や、笑いあう時間をたくさん作っていきたいです。

最後に、冬休みは受験前最後の長期休みなので、時間が有限であることを考えて、一日一日を無駄にせず過ごしたいです。具体的には中学校三年間の復習と、苦手な単元の勉強です。他には、実際に高校まで行って下見をした理、面接練習を行いたいです。

体調管理にも気を付け、メリハリを持ち、気を引き締めた状態で3学期を迎え、受験に挑めるように全力で頑張ります。

試してみよう！コーチング（連載4…承認） 日本メンターコーチ協会認定メンターコーチ 上田昌史

<まず、ほめ上手になりましょう！>

コーチングの3大スキル、傾聴に続き、今回は「承認」です。その第一歩は「ほめ上手」になることです。自己肯定感のアップにとっても効果的です。



- ① **ほめ言葉いくつ言えます？**箇条書きで書き出してみましょう。
- ② **その中で、お子さん（相手）が言われて嬉しいのはどれですか？**
ここを個別に試すと、人により大きく違うのがわかります。
投げかけるなら、お相手の心に届くのがよいですね。
ところで、ご自身はどうですか？



- ③ **今まで言われて嬉しかったほめ言葉を思い出してみましょう。**
- ④ **最近お子さんをほめたのはいつで、何をどうほめましたか？**
思い出せますか？

「弱点指摘」や「注意」より、ぜひ多くなるよう心がけましょう！

この時、つい「結果」に目が行きがち。「経過」に注目し、それについて触れることができるようになると上級です。

実は「ほめる」以上に効果的なものもあります。淡々と経過にふれ、事実をフィードバックすることは、「**あなたを見ていたよ**」のメッセージとなり、より有効になります。

- （例）・定期試験合計350点とったね、すごいなあ…○
・定期試験まで、ほぼ毎日2時間は勉強していたね…◎

ほめ&事実フィードバック上手になるために、相手を観察したり、思い浮かべる時間をぜひ意識して持ちましょう！

冬季休校日のお知らせ

札幌市教育委員会では、昨今、全国的な課題となっている教職員の長時間労働等への対策として、冬休み期間中に「冬季休校日」の取組を実施しております。これに伴い、本校では1月5日（月）から6日（火）までを冬季休校日とし、年末年始の休日（12月29日～1月3日）等と同様に学校としての休校日とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。電話も終日転送いたします。なお、冬季休校日の取組につきましては、札幌市教育委員会教職員課労務係（Tel 211-3853）にお問い合わせください。

冬季休業中の電話転送

16:45～8:15は電話を転送しています。

※緊急の場合は、札幌市教育委員会教職員課（Tel 211-3853）までお願いいたします。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期もいろいろな場面で大変お世話になりました。どうもありがとうございました。来年も本校の教育活動へご理解とご協力をよろしくお願いいたします。どうぞ、よいお年をお迎えください。